

令和5年度

# 2月のおれんじサロン ひと・まち

～若年性認知症本人交流会～

令和6年2月14日（水）

＼ 本人の声ハンドブック ＼

今日は、厚生労働省『認知症当事者の声』ハンドブック作成に伴うヒアリングを中心に行いました。冊子を作成される NTT データ経営研究所の方にも本人ミーティングに参加してもらい、本人たちの声を直接聴いていただきました。（一部紹介します）

○診断後、必要なサポートは？

- ・若年性認知症の人が生活でサポートしてほしいと思うのは、経済面のサポート。
- ・相談機関に相談しても、相談窓口を紹介されるだけ。
- ・診断後、不安な気持ちの中で制度利用手続きや情報収集を、家族にも相談できず一人ですすめるのはとてもハードルが高い。
- ・伴走してもらえるサポートがあれば、嬉しい。

○周りの人に望む関わりとは？

- ・共にできることをサポートして欲しい。横並びの声掛けがありがたい。
- ・普通に対応してもらいたい。間違ったら間違っているよと訂正してほしい



全国様々な当事者から聴いた声から作成される冊子なので、とても楽しみです！

令和6年2月28日（水）

＼ 認知症啓発プロジェクト活動紹介冊子を発行します！ ＼



令和5年8月から12月まで活動してきた“若い世代とコラボした新たな認知症啓発プロジェクト”の活動紹介冊子を今年度末に発行します！

このプロジェクトは、若い世代の人が若年性認知症の人との交流を通じて理解した認知症を、同じ若い世代の人へ伝えることを目的として取り組んできました。

今回発行する冊子の他に、若い世代の人からの提案でInstagramを活用して情報発信したり、活動を紹介する動画も作成しています。

若い人ならではの発想がたくさん出てきて、とても良かった！



若いメンバーが頑張ってくれたのがうれしい。活動を継続していきたいよね！

【来月の予定】 3月13日（水）午後2時～開催

※ 参加希望の方は下記までご連絡ください

【お問い合わせ】 京都市長寿すこやかセンター 電話(075)354-8741



【Facebook ページの QR コード】